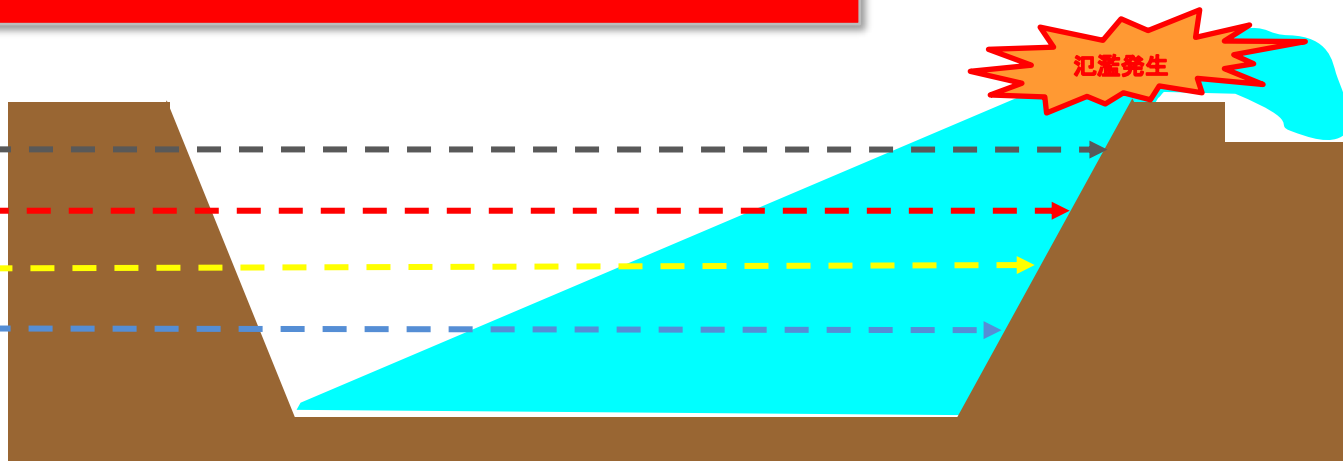


宇陀市災害時タイムライン

河川名	宇陀川	宇陀川	芳野川	宇陀川
観測所	榛原萩原	大宇陀西山	菟田野岩崎	三重県名張市
はん濫危険水位	4.2m	1.8m	2.0m	7.6m
避難判断水位	3.4m	1.7m	2.0m	6.8m
はん濫注意水位	2.8m	1.7m	1.9m	6m
水防団待機水位	1.7m	1.3m	0.9m	4.5m

大雨の時、河川の増水を想定し、災害の発生を前提とした場合の基本的な対応を示したものであり、降雨の状況や気象警報、河川の水位によって、防災対応は異なります。



本計画は、地震災害や台風などの風水害に備えて、気象、河川等の状況や事態の進行状況に応じて、各種災害から市民がその家族や関係者及び自らの安全を守ることを目的としています。

	タイムライン		3日前	12時間前	8時間前	6時間前 日没前	5時間前 日没前	リードタイム			
情報	気象情報等	平常時	大雨の予報	大雨注意報発表	大雨・洪水警報発表			降雨の継続	事態の長期化	事態の鎮静化	事態の終息
	土砂災害					土砂災害警戒情報			特別警報発表		
	河川の状況			水防団待機水位	はん濫注意水位	避難判断水位		はん濫危険水位	河川の氾濫	浸水被害	水位の低下
	地震震度	震度1～震度3			震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱以上		余震の発生	余震の発生

活動体制	災害規模				軽微な災害	複数の小規模災害		中規模災害		大規模災害		災害の沈静	
	災害警戒レベル			レベルA	レベルB	レベルC	レベルD		レベルE		レベルの縮小		
	職員配備体制名			注意配備	警戒配備	警戒本部体制		災害対策本部第1配備		災害対策本部第2配備		体制の縮小	復旧作業
	配備職員数			7名	51名	109名		161名		全職員		体制の縮小	
避難行動	避難情報				検討	高齢者等避難・避難指示				避難指示・緊急安全確保		避難指示解除	
	指定緊急避難所				検討→開設準備	開設						拠点施設へ集約	閉鎖
	指定避難所							検討→開設準備	開設		拠点施設へ集約	閉鎖	
	市福祉避難所										拠点施設へ集約	閉鎖	
	協定避難所										開設		閉鎖
学校・こども園等					休校・休園								

広報・情報伝達	防災無線							チャイム＋放送	サイレン＋放送		
	安全・安心メール				気象警報	気象警報	気象警報	避難準備情報	避難指示情報		
	うだちゃん11				L字放送	L字放送	L字放送	L字放送	生放送・L字放送		
	エリアメール							避難準備情報	避難指示情報		
	広報車							避難準備情報	避難指示情報		

公助（行政）		災害対策の周知	天候変化の注意	気象情報の確認	気象情報の収集分析	関係機関との情報交換		関係機関へ連絡	被害状況の収集	ケガ人・不明者の集約	不明者の搜索	被害状況の調査	災害状況取りまとめ
		備蓄品の整理		初動体制の周知	被害状況の収集	避難者受入		避難者受入		避難状況の把握	支援物資の調達・搬送		被害箇所の復旧
		防災訓練の実施		公用車配備・庁舎管理				危険区域内の要配慮施設へ連絡					
市民の行動	台風・水害	・ハザードマップにより危険個所の確認 ・避難所、避難ルートの確認 ・家の周りの保全（側溝、排水路等の清掃など） ・備蓄品の確認			市からの避難情報やテレビ、ラジオ、インターネットなどによる気象状況の確認 災害リスクの高い地域、避難を指定された地域の方は直ちに避難 指定緊急避難所や安全な場所での待機（水路や田んぼの様子を見に行かない）						安全が確認できれば、帰宅 自宅等の被害状況の確認 被害状況により帰宅できない場合は、指定避難所へ移動		
	地震	・自主防災組織を結成し、災害に備える。 ・ハザードマップにより危険個所の確認 ・避難所、避難ルートの確認 ・備蓄品の確認 ・建物の耐震化、家具の転倒、落下防止処置 ・防災訓練に参加							・緊急地震速報を見聞きしたら、慌てず身の安全を確保する。	・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。 ・あわてて外へ飛び出さない。 ・ドアや窓を開けて、避難路を確保する。 ・揺れが収まってから火の元を確認、出火していたら初期消火。 ・家族の安全を確認。 ・ラジオやインターネット、スマホなどで情報を確認。 ・被害状況により指定緊急避難所等へ避難			